

新日本保険新聞

(損保版)

第1～4月曜日発行
発行所 新日本保険新聞社
大阪市西区朝本町1丁目5-15
(郵便番号550-0004)
電話 (06) 6225-0550 (代表)
FAX (06) 6225-0551 (専用)
購読料 1か月2160円
(消費税、送料込み)

©新日本保険新聞社 2015

消費者から見た代理店への期待

日本代協
東京ブロック

丹野氏招きセミナー開催

手続きの煩雑化などが考えられるなど、あるべき方向と逆行するのではないか」と一連の契約手続き面での消費者の負担増加を危惧した。



講演する丹野氏

日本代協と東京代協は1月28日、東京・千代田区の損保会館で日本代協東京ブロックセミナーを開き、独立行政法人国民生活センター理事の丹野美絵子氏が「消費者から見た損害保険代理店への期待」をテーマに講演した。

適合性や支払要件の認識にずれがあることだと説明。さらに「消費者が保険を知らない事実とそれを放置してきた保険会社の姿勢」にも問題がある」と辛辣に述べた。

全国に1000以上ある消費生活相談窓口に寄せられた保険に関する相談件数の推移を示した丹野氏は、保険金不払い問題の影響を受けた2005年から件数増加が顕著

一方、消費者も保険に対する基本的な知識を持つ必要があるとも述べ、「消費者教育の重要性を示した。それに際しては、

消費者の心境を代弁した。

保険に関して消費者とトラブルになる原因

は、無形契約であるにもかかわらず、消費者が複雑・難解であるため、消費者ニーズとの

「保険募集の場面が最も有効な消費者教育の機会だ」と述べ、保険代理店や募集人にその役割を求めた。

今回の保険業法改正に

ついては、改正内容が基本的には消費者保護の方向にあるとしながらも、多少の懸念があると指摘。一例として「意向把握義務や情報提供義務を理由に、募集文書の肥大化、加入

38名を対象とした記念品授与式を開催。当日出席した新規認定者6名に日本代協の岡部繁樹会長から記念品が手渡された。

東京代協の金子智明会長は「誇りを持って営業活動に邁進してもらいたい」と期待を示し、来賓挨拶した日本代協の岡部会長と損保協会の堀政良専務理事も新規認定者を祝した。



(左から) 損保協会堀専務理事、日本代協岡部会長、東京代協金子会長